

海技士国家試験受験の案内 (令和8年10月定期試験)

よくお読みください。

東北運輸局

1. 筆記試験の日程

(1) 一～三級海技士（通信）、一～四級海技士（電子通信）、六級（航海・機関）を受験される方

試験種別	身体検査・筆記試験日時	試験科目及び時間（分）
一級海技士（通信）	10月9日（金） 8：45～	航海一般（150分）
二級海技士（通信）		航海一般（90分）
三級海技士（通信）		航海一般（90分）
一級海技士（電子通信）		航海一般（150分）
二級海技士（電子通信）		航海一般（150分）
三級海技士（電子通信）		航海一般（150分）
四級海技士（電子通信）		航海一般（90分）
六級海技士（航海）	10月9日（金） 13：15～	航海（60分） 運用（60分） 法規（90分）
内燃六級海技士（機関）		執務一般（60分） 機関（その2）（60分） 機関（その1）（90分）

海技士（通信）、海技士（電子通信）、六級海技士（航海）、内燃六級海技士（機関）を受験される方は、筆記試験前に身体検査を行いますので、筆記試験が免除される方も指定の日時にお越しください。

(2) 一～五級（航海・機関）の筆記試験を受験される方

試験種別	筆記試験日	午前（9:00～）	午後（13:30～）
		試験科目及び時間（分）	試験科目及び時間（分）
五級海技士（航海） 及び 四級海技士（機関）	10月13日（火）	航海（150分） 機関（その1）（150分）	法規（120分） 執務一般（90分） 機関（その3）（90分）
	10月14日（水）	運用（150分） 機関（その2）（120分）	
		航海（150分） 機関（その1）（150分）	法規（120分） 執務一般（90分） 機関（その3）（90分）
	10月16日（金）	運用（150分） 機関（その2）（120分）	
四級海技士（航海） 及び 五級海技士（機関）	10月15日（木）	航海（150分） 機関（その1）（150分）	法規（120分） 執務一般（90分） 機関（その3）（90分）
	10月16日（金）	運用（150分） 機関（その2）（120分）	
		航海（180分） 機関（その1）（180分）	法規（150分） 執務一般（90分） 機関（その3）（90分）
	10月20日（火）	運用（180分） 機関（その2）（180分）	
三級海技士（航海） 及び 三級海技士（機関）	10月19日（月）	航海（180分） 機関（その1）（180分）	法規（150分） 執務一般（90分） 機関（その3）（90分）
	10月20日（火）	運用（180分） 機関（その2）（180分）	
		航海（180分） 機関（その1）（180分）	法規（150分） 執務一般（90分） 機関（その3）（90分）
	10月23日（金）	運用（180分） 機関（その2）（180分）	英語（120分） 機関（その3）（150分）
二級海技士（航海） 及び 二級海技士（機関）	10月22日（木）	航海（180分） 機関（その1）（180分）	法規（150分） 執務一般（180分）
	10月23日（金）	運用（180分） 機関（その2）（180分）	英語（120分） 機関（その3）（150分）
		航海（180分） 機関（その1）（180分）	法規（150分） 執務一般（180分）
	10月27日（火）	運用（180分） 機関（その2）（180分）	英語（120分） 機関（その3）（150分）
一級海技士（航海） 及び 一級海技士（機関）	10月27日（火）	航海（180分） 機関（その1）（180分）	法規（150分） 執務一般（180分）
	10月28日（水）	運用（180分） 機関（その2）（180分）	英語（120分） 機関（その3）（150分）

- 試験は、午前は9時、午後は1時30分から開始します。（開始15分前には、試験会場に入室してください。）三～五級海技士（機関）の「機関（その3）」については、午後3時10分開始です。
- 内燃機関限定の試験についても上の表と同じ日程で筆記試験を実施します。

(3) 口述試験を受験される方

受験者ごとの口述試験の実施日は、各級の筆記試験合格発表日にあわせて掲示します。
筆記試験合格発表日につきましては、「4. 合格・口述試験日程発表日」をご覧ください。

2. 試験会場

仙台第四合同庁舎 4階試験会場（※庁舎周辺の地図は裏面8. を参照）

※入館方法について

当日、1階では受付を設けません。受験票が通行証の代わりとなります。

入館・退館いずれの場合においても、1階守衛に受験票を提示のうえゲート脇により入退館を行ってください。
離席される際には必ず受験票を携帯してください。

3. 受験の際の注意

- 受験票は、受験の都度に忘れずに持参ください。試験中は机上においてください。
- 受験票の裏側記載の「受験者心得準則」を事前にお読みください。
- 筆記試験の際、持ち込みが認められるもの。

【文具等】

製図用具（コンパス・デバイダ等）、定規、メートル尺、電卓（計算等のプログラムができないもの）、筆記用具等

※航海科のうち「航海」科目を受験する場合は三角定規・コンパス・デバイダ、
二級海技士（機関）または内燃機関二級海技士（機関）のうち「機関（その3）」科目を受験する場合は製図用具が必要となります。

【図書】

英語の試験の際、コンサイス英和辞典程度のもの（電子辞書は不可）一冊のほか、次のうち一冊に限り使用できます。

（成山堂）

和英・英和船舶用語辞典 東京商船大学 編
英和航海用語辞典 四之宮 博 著
海洋航海用語辞典 四之宮 博 著
和英・和英機関用語辞典 升田 政和 著

（海文堂）

英和海事用語辞典 神戸商船大学 編
最新英語航海用語辞典 桜井 広喜 著
最新船舶機関用語集 田村 正衛 著
和英・英和 総合海事用語辞典
総合海事用語辞典編集委員会 編
英和船舶機関用語辞典
商船高専機関英語研究会 編

- 口述試験の際、次の図書のうち一冊の持ち込みが認められます。
ただし、航海科試験のうち、海上交通法規（海上衝突予防法及び同法施行規則、海上交通安全法及び同法施行規則並びに港則法及び同法施行規則）に関する問題には使用できません。

海技試験六法

成山堂 発行

海事六法

海文堂 発行

- 受験申請について不備等がある場合、試験前に船舶労働環境・海技資格課において、不備事項を補正してください。
なお、船員手帳、海技免状、訓練記録簿等の原本を提出している方は、試験日に受け取ってお持ち帰りください。

4. 合格・口述試験日程発表日

東北運輸局4階掲示板及びHPへ掲載します。（<https://www.ttb.mlit.go.jp/tohoku/>）
遠隔地の方は電話にてお問い合わせください。（番号は裏面8）

① 筆記試験結果 及び 口述試験日程発表日

・三～六級（航海・機関）	10月29日（木）午後2時
・一～二級（航海・機関）	11月6日（金）午後2時

② 総合合格発表日

・通信、電子通信	10月16日（金）午後2時
・六級（航海・機関）	10月29日（木）午後2時
・一～五級（航海・機関）	11月26日（木）午後2時

※各発表日時以前にお問い合わせいただいても一切お答えしませんので、必ず日時をご確認ください。

5. 合格基準

筆記試験の合格基準

- 全科目を受験した場合
各試験科目について、それぞれ配点総計の50%に達し、かつ、全科目の得点総計が65%に達したものを筆記試験合格とする。
- 科目免除により、一部の科目について受験した場合
1科目でも65%に達しないものは不合格とする。
- 科目合格
上記1及び2で不合格となった場合でも、得点が65%に達した科目は合格（科目合格）とする。

口述試験の合格基準

得点の総計が、配点総計の65%に達したものを合格とする。



